

(1)

2008年8月16日

The Kyodan Times

(1933年12月28日 第三種)
郵便物認可 隔週土曜日発行

第4656・57号

教団新報



聖書日課に従って御言葉に聞き、祈り、教会会議が始まる

定価 1部140円(本体133円+共20円)
予約購読料 1年分 5,000円
紙代のみ 3,500円
振替 00140-9-145275
本紙を購読ご希望の方は、前金をそえて、お近くのキリスト教書店へお申し込み下さい。
教會の購読料は負担金に含みます。

発行所 日本基督教団
169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18
日本キリスト教会館内 電話03(3202)0546
FAX03(3207)3918
発行人 内藤留幸
編集主筆 竹澤知代志
印刷所 株式会社かんし

第35総会期

第5回常議員会

「戒規」巡り議事日程から議論

議事日程

七月十四、十五日、教団
会議室において第35総会期
第五回常議員会が開かれ
た。会議冒頭、議事日程承
認では、「北村慈郎教師に対
する戒規申し立てを行う
件」を取り下げるよう強い
訴えがなされた。「本来、
戒規を不服とする訴えを受
け止めるべき常議員会が戒
規申し立ての主体になるこ
とは、教規違反である」と

今常議員会も、前回に引き続き「教師退任勧告」「戒規」を巡る議案が焦点となつた。賛否両論が激しく対立、採決の際には、何人の常議員が退席するなど、混迷を深めた。また、抜本的教団機構改革案が総会への規則改正提案という形で、いよいよ具体的に提示され、ここでも激しい議論が交わされた。教団総会まで三ヶ月、今後、どのような展開を見せるのか、予断を許さない。

教団総会まで三ヶ月、その行方は
激しく対立、なかなかかみ合わない議論

教区活動連帯金
教区活動連帯金について
は、総幹事報告の中で、資
料に基づきながら丁寧な報
告がなされた。これを受けての質疑で
は、一九六八年の機構改正
の意図を具体化すべきとの
意見がある一方、「教区の多
様性に対する危惧を持つ」。
「教憲六条に対する破が
ある」。これ自身が、教区
活動連帶金の運営などにも
影響している。「都市の教
会も疲弊しており、状況は
大きく変化している」。「教
区活動連帶金にこだわるの
ではなく、教団全体の伝道
を考えるべき」との意見が
された。

内外諸教会との関係
内外諸教会との関係に關
する件では、合衆国長老教
会(PCUSA)と合同メソジスト教
会(UMC)の教団の名前で呼びかける大
きな影響がある。

被災教会支援
「新潟県中越地震」被災教
会会場等再建支援委員会報
告では、小橋孝一委員長並
びに足田國磨呂関東教区議
員会終結の報告と感謝が述べられた。
また、監査を受ける予定
であることも報告された。

日本伝道150年記念
日本伝道150年記念行事
準備委員会報告の件で
は、行事日程の具体案並び
に行事、出版、関連諸行事
を含めて募金目標を五〇〇
万円と定めたいとの提案が
あった。

報告を受けた質疑で
は、「沖縄からの問い合わせ
で承認された」。

(林牧人報)

の意見が続いたが、「当該議
案の内容に踏み込んだやり
とりとなっている。議事日
程を承認して、議事の中で
内容議論をすべきである」
との判断がなされ、採決に
入り、三〇名中十七名の賛
成により議事日程が原案通
り承認された。この件に関
しては、配付資料にも、常
議員会宛送された賛否両
論の要望書が多数添付され
超えていると判断し、六月
超えていた。

書記報告
書記報告では、統一協会
との関連が問題視されてい
る「クリスチヤントゥデイ」
との関係を質す意見があ
り、山北宣久議長は、既に
疑わしきは罰せずの領域を
超えていると判断し、六月
超えていた。

総幹事報告
総幹事報告では、内藤留
出された。

また、教区活動連帯金の
報告の受け皿がない現状に
ついては、「常議員会はじめ
教団の中に位置づける実力
はない」。教区議長たちは
必死になってきた、しかし、
教団に経済的実力がない。
「信徒の負担感、制度への
信頼感、その点でも実力は
ない」との現状認識を確認
することにとどまり、総幹
事報告は賛成多数で承認さ
れた。

被災教会支援
規模な献金については、監
査を受けることにして決めてお
くべきであるとの意見が出
された。

また、阪神淡路大震災関
連の会計報告が終結してい
ないことにに関して、兵庫教
区に対し、教区の中で推移
するのではなく、常議員会
に報告すべきであるとの
意見が出された。

牧師である笠士達雄常議員
より支援感謝が述べられ
た。また、関連して、福島
純雄東北教区議長より、岩
手宮城内陸地震関連の報告
がなされ、改築を余儀なく
されている陸前古川教会へ
の支援が訴えられた。



常議員は全員出席、しかし、多くの欠けを抱きながら

荒野の音

▼キーワード
トウモロコシ、南瓜、トマト、茄子、キュウリ、ピーマン、シシウド、唐辛子、薩摩芋、ジャガイモ、里芋、アスパラ、ヨウガ、一〇種類のハーブ

お知らせ
『教団新報』今号を四五六・五七合併号として、
四五六八号は九月十三日
発行とします。
総幹事 内藤留幸

答えることなしに共に祝え

だが、楽しい。

▼教団は?

